

令和8年度

和歌山大学私費外国人留学生選抜

学生募集要項

（経済学部・システム工学部・観光学部）

※ 私費外国人留学生選抜はインターネット出願です。

インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しません。

（出願書類一式を指定期間内に必着で、一般書留速達（海外から発送の場合は、国際スピード郵便（EMS）、国際宅配便（FedEx、DHL等））により発送することで、すべての出願手続が完了となります。）

目 次

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	1
募集人員	6
出願資格	6
【注意】TOEFL Test のスコア提出等について	8
出願手続	9
(1) 出願期間	9
(2) 出願方法	9
(3) インターネット出願サイトの流れ	12
(4) 入学検定料	16
(5) 出願書類	16
(6) 出願上の注意事項	19
受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談	20
受験票及び受験上の注意の印刷	20
入学者選抜方法等	20
試験日時及び試験場	21
受験上の注意事項	21
合格者発表	21
入学手続	22
個人情報の取扱い	23
入試情報の開示	23
学部の紹介	24
学生生活	28
私費外国人留学生選抜に関する問合せ先	29
[ホームページ掲載の所定様式]	
・志望理由書	

※ 本要項に記載されている日付は全て日本時間とします。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

大学の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

高等学校あるいはこれに相当する教育機関等における学習や活動を通して、次の知識・技能、能力、態度を有する人を求める。

(1)知識・技能

- ・ 本学での学修に必要となる知識・技能を有する人

(2)思考力・判断力・表現力

- ・ 課題解決に取り組むための基礎となる思考力・判断力・表現力を有する人

(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・ 多様で広い知的関心をもち、他者と関わって、主体的に学ぼうとする意欲や態度を有する人
- ・ 身につけた知識や技能を活用し、課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

【入学後の期待】

入学時に求められる知識・技能、能力、態度をもとに、各学部の専門教育及び教養教育を学修することができるレベルにまで資質・能力を高めることを期待する。

2. 入学者選抜の基本方針

本学が求める資質・能力を適切に評価するために、各学部・学環の特性を踏まえた選抜方法により実施する。

経済学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

これまでの学びの機会を通して、次の知識・技能、能力、態度を身につけようとしてきた人を求める。

(1)知識・技能

- ・ 社会の複合的な課題を発見・理解するための幅広い基礎的知識を有する人

(2)思考力・判断力・表現力

- ・ 認識した課題を分析・解決するための思考力・判断力・表現力を有する人

(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・ 解に至る道筋を粘り強く考え続ける能力を有する人
- ・ 課題解決の実践にあたり、多様な人々と対話し、協働するためのコミュニケーション能力と意欲を有する人

【入学後の期待】

入学後には、自らがさらに努力を重ね、多くの人と関わり合いながら、経済・社会の活動に関わる諸問題に一層の関心を持ち、これまでに身につけた能力を磨くとともに、複数の専門領域を包摂した教育課程を通して、次の知識・技能、能力を身につけることを期待する。

- (1)経済学、経営学、会計学、情報学、法学などを中心とした専門知識
- (2)専門知識を領域横断的に活用した理解力、思考力、表現力
- (3)主体的に学び、考え、多様な人々と協働する能力

2. 入学者選抜の基本方針

- (1)一般選抜(前期日程)では、大学入学共通テストと個別学力検査等により入学者を選抜する。大学入学共通テストにおいては、高等学校教育の成果として身につけた各教科の知識・技能や思考力・判断力・表現力等を評価する。個別学力検査等においては、経済学部で学修するのに必要な知識・技能や思考力・判断力・表現力等を英語と数学の側面から評価する。
- (2)一般選抜(後期日程)では、大学入学共通テストと個別学力検査等により入学者を選抜する。大学入学共通テストにおいては、外国語の理解力と特定分野の知識を、優れた成績を収めた科目に配慮し評価する。個別学力検査等においては小論文を課し、論理的に考え、判断し、論述する力を評価する。特に、社会科学を学ぶ上で必要な知識、並びにそれを活用する能力を重視する。
- (3)学校推薦型選抜では、高等学校等において身につける学力のうち、基本的な知識の修得状況と学ぶ意欲、社会科学を学ぶ上で必要な理解力(読解力)・論理的な思考力・表現力(文章力)、他者との議論や協働的な活動の礎となるコミュニケーション能力を、それぞれ出願書類、小論文、及び集団討論により評価し、入学者を選抜する。
- (4)学校推薦型選抜(スポーツ)では、高等学校等において身につける学力のうち、社会科学を学ぶ上で必要な理解力(読解力)・論理的な思考力・表現力(文章力)を小論文により評価する。これに加えて、基本的な知識の修得状況、顕著な成績を収めたスポーツ活動において培われた主体性や多様な人々と協働する力、及びスポーツの実践、普及、振興についての関心を出願書類と面接により評価し、入学者を選抜する。
- (5)学校推薦型選抜(簿記)では、高等学校等において身につける学力のうち、社会科学を学ぶ上で必要な理解力(読解力)・論理的な思考力・表現力(文章力)を小論文により評価する。これに加えて、基本的な知識の修得状況、及び経済・経営・商業活動に関する知識・技能・思考力を出願書類と面接により評価し、入学者を選抜する。
- (6)社会人選抜では、高等学校等の卒業後の社会人経験とそこから得た知見、及び生涯にわたり学び続ける姿勢などを出願書類及び面接により評価し、入学者を選抜する。
- (7)帰国生徒選抜では、諸外国での学びと日本における学びのためになされた種々の活動を面接と出願書類により評価し、入学者を選抜する。
- (8)私費外国人留学生選抜では、諸外国での学びを通して得た基礎的な知識と日本に留学するにあたってなされた学びの成果を日本留学試験と出願書類により評価する。あわせて日本語の運用能力を面接により評価し、入学者を選抜する。
- (9)第3年次一般編入学選抜では、他大学等での学修により身につけた経済学・経営学などに関する知識

とそれを活用する思考力・判断力・表現力、及び英語の運用能力をそれぞれ小論文と出願書類により評価する。あわせて、他者と協働・協調する力、あるいは他者をリードする力を面接により評価し、入学者を選抜する。

(10)第3年次推薦編入学選抜では、他大学等での学修により身につけた経済学・経営学などに関する知識とそれを活用する思考力・判断力・表現力、及び英語の運用能力を出願書類により評価する。あわせて、他者と協働・協調する力、あるいは他者をリードする力を面接により評価し、入学者を選抜する。

システム工学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

システム工学部において入学者に求める知識・技能、能力、態度は次のとおりである。

(1)知識・技能

- ・これまでの学びを通して大学入学後の複数の科学・技術領域を見通し、情報教育を基盤として複合的に工学系分野の専門を学ぶための基礎となる学力・技能、特に理数系における確かな知識を有する人

(2)思考力・判断力・表現力

- ・課題を解決するための思考力・判断力を有する人
- ・意見や考えを他者や社会に分かりやすく伝えるための表現力を有する人

(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・他者を尊重し、その意見を受け入れる柔軟性、協調性を有する人
- ・何事にも好奇心・探求心を持ち、創造力を身につけようとする真摯な態度を有する人

【入学後の期待】

入学後には、自ら学び考える力をもち、次の観点から、学術・産業研究を含む広範な工学系分野で活躍する自律的な技術者を目指すことを求める。

- (1)自分自身の思い描くキャリアパスを客観的に考え、それに応じた2つのメジャーを選択すること
- (2)情報技術に関する基礎知識・技能と、メジャーが提供する専門知識・技能を主体的に修得し、時代や社会が求める実践的な力を身につけること
- (3)異なる知識や技能を、断片的にではなく体系化して身につけ、課題を解決する能力へと高めること
- (4)課題解決に向けて、他者と協働して取り組む能力や意見や考えを論理的に伝えるコミュニケーション能力を身につけること
- (5)広範な視野で専門をより深化させ、産業や社会のニーズに即応できる実践力と創造性を養うこと

2. 入学者選抜の基本方針

- (1)一般選抜(前期日程)では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、数学的思考力と英語の理解力を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜する。
- (2)一般選抜(後期日程)では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、

システム工学を学ぶにふさわしい能力・適性を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜する。

(3)学校推薦型選抜では、明確な目的意識をもって入学を希望し、かつ、出身学校長より推薦を受けた者のうち、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、目的意識や学修意欲などを面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。

(4)学校推薦型選抜(女子枠)では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を有し、「自ら取り組む意欲」が高く、明確な目的意識をもって入学を希望し、かつ、出身学校長より推薦を受けた者のうち、「探究的な学習」等の取組みにおいて優れた研究を行い、また、発想力が豊かで行動力があると認められる者を面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。

(5)私費外国人留学生選抜では、日本に留学するためになされた学びの成果を日本留学試験、出願書類、面接により評価する。あわせて、入学後の学修に必要な理解力、論理的思考力、日本語運用能力を面接により評価し、入学者を選抜する。

(6)第3年次推薦編入学選抜では、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する基礎学力や専門に対する適性を面接と出願書類により評価する。あわせて、目的意識や学修意欲などを面接により評価し、入学者を選抜する。

(7)第3年次一般編入学選抜では、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する専門知識などを学力検査により評価する。あわせて、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する専門知識・技能や目的意識、学修意欲などを面接により評価し、入学者を選抜する。

観光学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

観光学部において入学者に求める知識・技能、能力、態度は次のとおりである。

(1)知識・技能

- ・観光学部における専門分野の学修に必要な基礎学力を有する人

(2)思考力・判断力・表現力

- ・主体的かつ積極的に課題に挑戦するための基礎的な思考力・判断力・表現力を有する人

(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・新しいものごとへの好奇心・探究心、多様な文化・歴史・地理・言語や現代の社会情勢に対する幅広い関心を持ち、他者と関わって学ぼうとする意欲や態度を有する人
- ・身につけた知識や技能を活用し、主体的かつ創造的に課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

【入学後の期待】

入学時に求められる知識・技能、能力、態度をもとに、観光に関わる諸問題に一層の関心を持ち、観光学部の専門教育及び教養教育を学修することができるレベルまで資質・能力を高めることを求める。

2. 入学者選抜の基本方針

(1)一般選抜(前期日程)では、入学後の専門知識と教養を学ぶ基礎となる学力を大学入学共通テストにより、また、思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲や態度を個別学

力検査等により総合的に評価し、入学者を選抜する。

- (2)一般選抜(後期日程)では、観光学を学ぶ上で必要となる幅広い知識・学力(汎用性能力)を大学入学共通テストにより評価し、入学者を選抜する。
- (3)総合型選抜では、入学後の学修に必要な思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲や態度を書類審査、指定された課題のプレゼンテーション、出願書類等に基づいた面接により多面的に評価し、入学者を選抜する。
- (4)学校推薦型選抜では、入学後の専門知識と教養を学ぶ基礎となる学力を大学入学共通テストにより、また、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲や態度を高等学校等で意欲的に取り組んだ活動実績、資格取得等により、さらに入学後の学修に必要な思考力・判断力・表現力を面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (5)社会人選抜では、入学後の学修に必要な理解力・論理的思考力・判断力・表現力を小論文により、また、高等学校等卒業後の社会人経験とそこから得た知見、及び生涯にわたり学び続ける意欲や態度を出願書類及び面接により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (6)私費外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な理解力・論理的思考力・判断力・表現力に加え、諸外国での学びを通して得た基礎的な知識と日本に留学するにあたっての学ぶ意欲や態度、日本語運用能力を日本留学試験、出願書類、面接により総合的に評価し、入学者を選抜する。

募集人員

学 部	学 科	募集人員
教 育 学 部	—	募集なし
経 済 学 部	経 済 学 科	若 干 名
システム工学部	システム工学科	若 干 名
観 光 学 部	観 光 学 科	若 干 名
社会インフォマティクス学環	—	募集なし

出願資格

次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者

【基礎資格】

次の各号のいずれかに該当する者

1. 外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 8(2026)年 3 月 31 日までに修了見込みの者
2. 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずる者を含む。次号において同じ。)に合格した者で、令和 8(2026)年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
3. 外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。)で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したもの及び令和 8(2026)年 3 月 31 日までに修了見込みのもの
4. 外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、高等学校に対応する学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 11 年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び令和 8(2026)年 3 月 31 日までに修了見込みの者
5. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格(国際バカロレア資格)を外国において取得した者
6. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格(一般的大学入学資格)を外国において取得した者
7. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格(バカロレア資格)を外国において取得した者
8. グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCE-A レベル資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際 A レベル資格)を外国において取得した者
9. 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格(欧州バカロレア資格)を外国において取得した者
10. 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた外国に所在する教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者

【要件】

次のすべてに該当する者

1. 日本国籍を有しない者(日本国の永住許可を得ている者を除く)
2. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者及び取得できる見込みの者
3. 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験した者で、出願する学部の指定する【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL Test における出願要件】(7 ページ参照)を満たす者
4. TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL Test のいずれかの成績が、出願する学部の指定する【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL Test における出願要件】を満たす者

※インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の外国の教育機関出身者は、出願が認められない場合があるため、必ず出願前(できるだけ早い時期)に、出願資格があるかを裏表紙裏面の志望する学部の照会先に照会してください。

【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL Test における出願要件】

試験 学部・学科		日本留学試験						TOEIC Listening & Reading Test	TOEFL Test iBT (インターネット 試験)
		日本語	総合 科目	理科	数学	得点等	摘要		
経済学部	経済学科	○	○	×	「コース 1」	「日本語」の得点が200点以上 「総合科目」と「数学」の合計得点が240点以上	「総合科目」「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	450 点以上	42 点以上
工システム学部	工システム学科	○	×	○	「コース 2」	「日本語」の得点が200点以上 「数学」と「理科」の合計得点が240点以上	「理科」の選択科目は、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。 各科目の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	410 点以上	42 点以上
観光学部	観光学科	○	総合科目 又は 理科の いずれか		「コース 1」 又は 「コース 2」 のいずれか	各科目の得点が平均点以上	「理科」の選択科目は、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。 「総合科目」「理科」「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	450 点以上	42 点以上

(注 1) 日本留学試験の成績を利用できるのは、令和 6(2024)年度の 6 月実施分若しくは 11 月実施分又は令和 7(2025)年度の 6 月実施分のいずれかの試験結果とします。

(注 2) TOEIC Listening & Reading Test のスコアは、出願期間最終日よりさかのぼること 2 年以内に受験した試験結果とします。

(注 3) TOEFL Test のスコアは、出願期間最終日よりさかのぼること 2 年以内に受験した試験結果とします。Test Date Scores のみ有効です。My Best Scores は利用できません。

(注 4) 日本留学試験の「日本語」に関して、「記述」の得点は利用しません。

【注意】TOEFL Testのスコア提出等について

TOEFL Test のスコアを提出してください。

ただし、出願期間最終日よりさかのぼること 2 年以内に受験した試験結果とします。

「Official Score Report / Institutional Score Report」
(TOEFL Test 受験者がアメリカ ETS に申し込むこと。)

(注意事項)

TOEFL ITP Test のスコアは利用できません。

受験者が和歌山大学の下記志望学部へ届くようアメリカ ETS に発行手続きを行ってください。DI Code は、志望学部により異なりますので、十分注意し手続きをしてください。

受験者が発行手続きを行った後、和歌山大学下記志望学部へ「Official Score Report / Institutional Score Report」が直送されます。

発行手続きには、志望学部毎の次の DI コード等が必要です。

DI Code は、志望学部により異なりますので、十分注意し手続きをしてください。

志望学部	Name of Institution	DI Code
経済学部	Academic Affairs Section, Faculty of Economics (in Student Center) Teaching and Learning Division Wakayama University	B541
システム工学部	Academic Affairs Section, Faculty of Systems Engineering (in Student Center) Teaching and Learning Division Wakayama University	B540
観光学部	Academic Affairs Section, Faculty of Tourism (in Student Center) Teaching and Learning Division Wakayama University	B539

TOEFL Test の公式スコア「Official Score Report / Institutional Score Report」が出願期間最終日の 17 時までに届かなかった場合、書類不備となり出願は受理できません。

本学に届くまで 2 か月程度かかる場合もありますので、時間には十分余裕をもって送付手続きをしてください。出願期間前に ETS から本学に到着させておくことができます。

出願手続

(1) 出願期間

インターネット出願登録及び入学検定料納入期間
令和7年8月22日(金) 0時～9月10日(水) 9時まで
出願書類の提出期間
令和7年8月22日(金) 0時～9月10日(水)17時まで【必着】 出願書類の受付は、郵送によるもののみとし、直接持参しても受理しません。

令和7年9月10日(水)17時までに和歌山大学国際交流課に必着するように郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに出願してください。特に、海外から発送する場合は、ウェブサイト等で配達にかかるまでの日数を確認し、期日までに確実に届くようにしてください。令和7年9月10日(水)17時を超えて到着したものは受理しません。

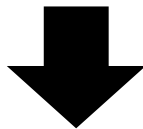
出願期間内に書類が届かなかった場合、書類不備となり出願は受理しません。

出願書類提出先：〒640-8510 和歌山市栄谷 930 和歌山大学国際交流課

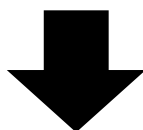
(2) 出願方法

以下の手順で出願をしてください。インターネット出願サイトでの登録及び入学検定料納入の流れは12～15 ページを確認してください。インターネット出願サイトでの登録及び入学検定料納入だけでは出願は完了しません。すべての出願書類を出願期限までに到着するよう郵送され、「(1)出願書類の提出期間」内に、到着した出願書類に不備がなくかつ出願資格を有することが確認された時点で出願手続が完了します。

手順①	マイページ登録	インターネット出願サイトにアクセスし、マイページ登録をしてください。令和7年8月19日(火)10時からマイページ登録が可能になります。 【インターネット出願サイト】 https://e-apply.jp/ds/wakayama-u/
-----	---------	---



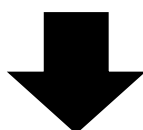
手順②	インターネットで出願情報の登録	これ以降の登録は、前記(1)出願期間の「インターネット出願登録及び入学検定料納入期間」に可能となりますので注意してください。 必要事項の登録と写真データをアップロードしてください。画面に表示される留意事項をよく確認してください。 登録後の変更は一切できませんので、受験学部・学科等の入力内容に誤りがないかよく確認してください。また、住所(番地や号室の入力漏れ等)に誤りがあると、合格通知書や入学手続案内が届かない場合がありますので十分注意してください。
-----	-----------------	---



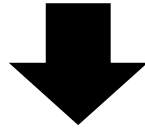
手順③	受付番号(12桁)のメモ	「インターネット出願で登録した申込内容を確認する場合」と「出願書類を出力する際」に、受付番号(12桁)が必要になりますので必ずメモを控えるか画面を印刷してください。
-----	--------------	---



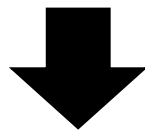
受付番号 (12 桁) のメモ											



手順④	入学検定料の納入	14 ページの納入方法から 1 つ選択し、納入期限までに入学検定料 17,000 円を払い込んでください。払い込みには、他に払込手数料が必要となります。
-----	----------	--



手順⑤	必要書類の印刷	インターネット出願サイトから「入学志願票」を A4 サイズでカラー印刷し、内容に誤りがないか確認してください。
-----	---------	---



手順⑥	出願書類の郵送	インターネット出願サイトから <u>A4 サイズでカラー印刷した「宛名シート」</u>を、<u>市販の角形 2 号封筒 (24 cm × 33.2 cm)</u>に貼付してください。<u>準備したこの封筒に</u>、16～19 ページの出願書類を封入し、<u>書留速達郵便</u>で郵送してください。送付先はインターネット出願サイトから A4 サイズでカラー印刷した「宛名シート」に自動印字されます。必ずこの「宛名シート」を使用してください。<u>長形 3 号定形封筒 (12 cm × 23.5 cm)</u>は使用できません。 ただし、<u>海外から出願する場合は</u>、上記宛名ラベルを貼り付けた封筒を、国際スピード郵便（EMS）、国際宅配便（FedEx、DHL 等）のいずれかの封筒に封入して送付してください。
-----	---------	--

(3) インターネット出願サイトの流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
出願書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※出願書類…入学志願票・志望理由書・各種証明書・日本留学試験成績確認書など
詳細は学生募集要項16～19ページ参照



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

▶ <https://e-apply.jp/ds/wakayama-u/>

または、

大学ホームページ

▶ <https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/>

からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

※本学よりメールを使って照会することがありますので、日常的に確認しているメールアドレスを使って登録ください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



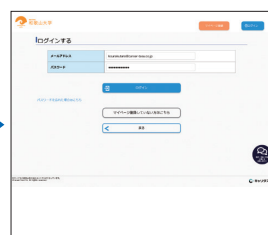
②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



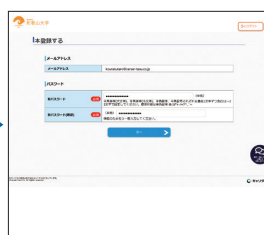
③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



※出願受付中の場合のみ、 **出願する** > ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

[illegible][illegible][illegible][illegible]

受付番号	受験番号
注意事項	
入試区分	
学部	
学科	
教育課程 学校教育実践科 成漢院実践系音楽又は芸術 の選択	
試験科目 総合科目第1	
試験科目 音楽発展科目第1	
音楽 実技検査発展科目	
音楽教育 実技検査発展科目第1	
音楽教育 実技検査発展科目第2 (特上級生対象)	
音楽教育 実技検査発展科目第2 (特上級生対象)	



- 13 -



入学検定料の支払い

国内からの出願はこちら

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能



●店頭端末を利用して支払い可能



各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って
必要な情報を入力し、内容を確認してから
入学検定料を支払ってください。

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。



海外からの出願はこちら

5 Flywireでの支払い

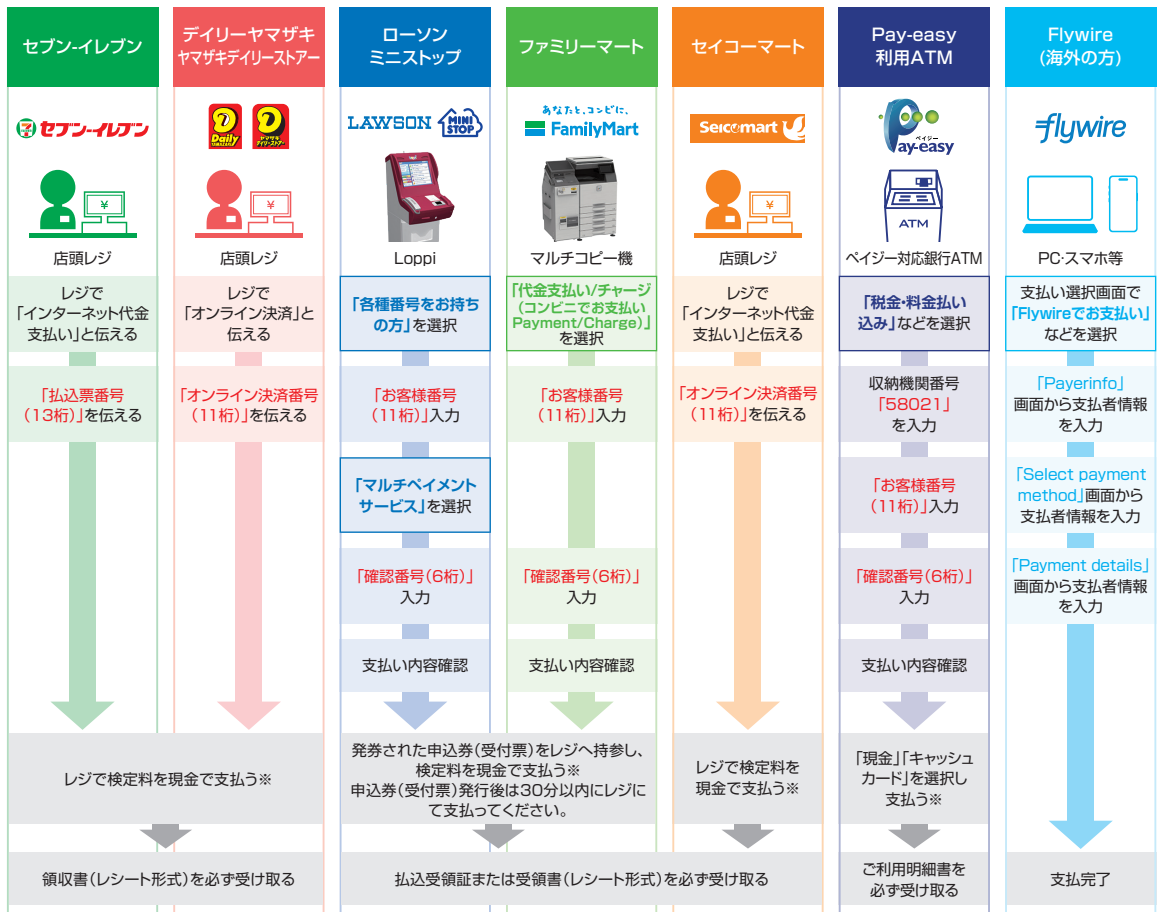
出願内容の登録後、ご利用画面からそのままFlywireのページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

【ご利用可能なクレジットカード】AMERICAN EXPRESS、Master、JCB、VISA、UnionPay（銀聯）



Webで手続き完了

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6



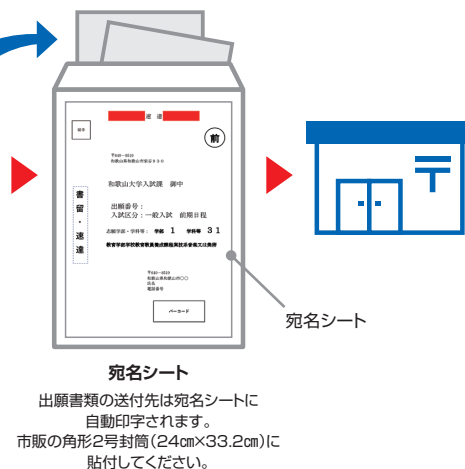
出願書類の印刷と郵送

登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類をA4サイズでカラー印刷し、その他の出願書類と併せて出願期間内に本学国際交流課必着となるよう郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。海外から出願する場合はEMS、国際宅配便(FedEx、DHL等)など、配達記録が残る方法で発送してください。

■出願書類

郵送が必要な出願書類は16～19ページを参照しあらかじめ準備してください。



「入学志願票」の印刷方法

お支払いが正常に完了すると

[出願書類\(PDF\)の表示](#) のボタンをクリックできるように入学志願票の出力ができます。

※出願を受理した出願書類、入学検定料は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日9時まで、入学検定料の支払いは出願締切日9時まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、出願書類の郵送は出願締切日17時までに本学国際交流課必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票、受験上の注意の印刷

詳細は20ページを参照してください。



(4) 入学検定料

1. 入学検定料 17,000 円

他に払込手数料が必要となります。

2. 入学検定料返還について

出願を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても振り込み済の検定料は返還しません。ただし、次の場合は、令和 7(2025)年 10 月 31 日(金)までに返還請求を行ってください。

- ・入学検定料振り込み後、出願書類を提出しなかった者又は出願が受理されなかった者
- ・入学検定料を誤って二重に振り込みした者

なお、返還額は振込手数料を差し引いた金額となります。

(5) 出願書類

全員 アップロードによる提出が必要な出願書類 【ファイルアップロードのみ(郵送不可)】		
番号	出願書類	摘 要
1	写真データ	出願前 3 か月以内に撮影した顔写真をアップロードしてください。 ・正面向き、無帽、上半身、無背景の顔写真 ・ファイル形式は JPEG、BMP、PNG(推奨サイズは 10MB 未満)形式 (注 1) フォトスタジオ、写真館又は証明写真機で撮影した写真データを推奨します。 (注 2) アップロードされた写真は受験時の本人照合に使用するほか、入学後の学生証に使用する可能性があります。なお、写真アップロード後の差し替えはできません。

全員 提出が必要な出願書類【書留速達郵便(国際スピード郵便、国際宅配便)による郵送のみ】 ※指示がなければ、出願書類は全て日本語で記入してください。		
番号	出願書類	摘 要
1	入学志願票	インターネット出願サイトから <u>A4 サイズでカラー印刷</u> してください。
2	志望理由書	本学ホームページから本学所定の様式をダウンロード(A4 サイズで印刷)して作成してください。 志願者本人が日本語で、必要事項を漏れなく記入してください。 ※ダウンロード場所 https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/faculty/invitation/index.html
3	証明書等 出願資格は 6 ページを参照してください。	基礎資格 1 に該当する者 1. 中等教育の学校(日本の高等学校相当)の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 2. 中等教育の学校(日本の高等学校相当)の成績証明書(各学年毎の成績が分かるもの) (注)1 及び 2 は出身学校長発行のものに限ります。 3. 中等教育(日本の高等学校相当)の修了を認定する外国の統一試験等

	の合格(見込)証明書及び成績(評価)証明書(該当者のみ) ○該当者(その統一試験等に合格しなければ所在する国の中等教育(日本の高等学校相当)の修了と認められない教育制度の国で教育を受けた者)は、1、2に加え3を提出すること。 (参考)外国の統一試験等 イタリア共和国の教育制度によるもの…Maturita(マトゥリタ)試験 その他の国の教育制度によるもの…国(州)の実施する統一試験等
	基礎資格 2 に該当する者 大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GEDtest」等がこれに該当します。 1. 当該検定の合格証明書 2. 当該検定の成績証明書
	基礎資格 3 に該当する者 1. 準備教育課程等入学以前に卒業した高等学校に対応する学校の成績証明書及び卒業(修了)証明書 (検定に合格した者は、その合格証明書及び合格成績証明書) 2. 準備教育課程等の修了証明書又は修了見込証明書
	基礎資格 4 に該当する者 1. 中等教育の学校(日本の高等学校相当)の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 2. 中等教育の学校(日本の高等学校相当)の成績証明書(各学年毎の成績が分かるもの) (注)1及び2は出身学校長発行のものに限ります。 3. 中等教育(日本の高等学校相当)の修了を認定する外国の統一試験等の合格(見込)証明書及び成績(評価)証明書(該当者のみ) ※該当者(その統一試験等に合格しなければ所在する国の中等教育(日本の高等学校相当)の修了と認められない教育制度の国で教育を受けた者)は、1、2に加え3を提出すること。 (参考)外国の統一試験等 イタリア共和国の教育制度によるもの…Maturita(マトゥリタ)試験 その他の国の教育制度によるもの…国(州)の実施する統一試験等
	基礎資格 5 に該当する者 1. 国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)の原本証明された写 2. 国際バカロレア資格最終試験 6 科目の成績評価証明書
	基礎資格 6 に該当する者 一般的大学入学資格証明書(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)の原本証明された写
	基礎資格 7 に該当する者 バカロレア資格証書(Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)の原本証明された写及びバカロレア資格試験成績証明書(Relevé des Notes)
	基礎資格 8 に該当する者 GCE-A レベル又は国際 A レベル資格試験の成績評価証明書 ※GCE-A レベル又は国際 A レベル試験において、1 科目以上合格の

		こと。 基礎資格 9 に該当する者 欧州バカロレア資格証書 (European Baccalaureate Diploma) の原本証明された写及び欧州バカロレア資格試験成績証明書 基礎資格 10 に該当する者 1. 中等教育の学校(日本の高等学校相当)の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 2. 中等教育の学校(日本の高等学校相当)の成績証明書 3. 当該教育施設が国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS)から認定を受けていることが確認できる書類 (注)1 及び 2 は出身学校長発行のものに限ります。
	【4 証明書等注意事項】 ○証明書等が英語以外の外国語で作成されている場合、日本語又は英語に翻訳し、その内容が原本と相違ないことを大使館等で証明を受けたものも併せて提出してください。大使館で翻訳証明が受けられない場合は、次のいずれかの方法をとってください。 ①現在在籍している学校の学校長名(学校長印捺印のこと)で翻訳証明する。 ②公証人、弁護士等、公的に認められている法律関係有資格者又は翻訳関係公的資格者(いずれも公印捺印のこと)により翻訳証明する。この場合は、翻訳証明を行った者の公的資格を確認する書類も提出してください。 ○成績証明書で、科目名、成績評価等が符号又は略字等で表示されている場合は、その説明書を添付してください。 ○改姓名等により現在の氏名と書類の氏名が異なる場合は、公的機関が発行した書類の写を添付してください。 ○証明書等は、学校長又は機関の長の作成したものを提出してください。(学校長又は機関の長の公印か、学校又は機関の公印あるいはオフィシャルシールのいずれかがあるもののことです。学校や機関のレターヘッド等のテンプレートのみでは書類不備となります。) ○証明書等は、「原本証明された写」と指示がない限り全て原本を提出してください。「原本証明された写」と指示がある場合、原本の写しであることの証明は大使館等公的機関で受けてください。 ○「原本証明された写」と指示がある場合でも必要に応じ原本の提示を求める場合があります。	
4	出願資格【要件】1 を証明する書類(旅券(パスポート)のコピー、住民票の写し等)	次のいずれかを提出してください。 1. 日本における在留資格を持つ者 ・在留カードの両面コピー、若しくは居住する市区町村発行の住民票(国籍・在留資格・在留期間が記載されたもの)の写 2. 上記以外の者 ・パスポートの、本人の氏名・国籍・顔写真のわかるページのコピー(パスポートを所持していない場合は、日本国以外の国籍を有することを証明する書類)
5	日本留学試験成績確認書(日本学生支援機構発行)	令和 6(2024)年 6 月実施分若しくは 11 月実施分又は令和 7(2025)年 6 月実施分のいずれか 1 つを提出してください。
6	TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL Test のスコア	出願期間最終日よりさかのぼること 2 年以内の試験結果とします。(TOEIC Listening & Reading Test の場合) TOEIC 運営委員会発行の証明書「Official Score Certificate(公式認定証)」 ○関係機関が専用用紙で発行したもの又はデジタル公式認定証を自分でプリントアウトしたものを提出してください。

		○TOEIC・IP のスコアは利用できません。 (TOEFL Test の場合) 公式スコア票「Official Score Report / Institutional Score Report」 (TOEFL 受験者がアメリカ ETS に申し込むこと。) ○詳細な手続は、必ず 8 ページを確認してください。 ○TOEFL Test の公式スコア「Official Score Report / Institutional Score Report」が出願期間最終日の 17 時必着までに届かなかった場合、書類不備となり出願は受理できません。本学に届くまで 2 か月程度かかる場合もありますので、時間には十分余裕をもって送付手続をしてください。出願期間前に ETS から本学に到着させておくことができます。 ○TOEFL ITP Test のスコアは利用できません。
7	宛名シート	市販の角形 2 号封筒 (24 cm × 33.2 cm) を準備し、インターネット出願サイトから「宛名シート」を <u>A4 サイズでカラー印刷し、封筒の表に貼付してください。</u>長形 3 号定形封筒 (12 cm × 23.5 cm) は使用できません。 ただし、<u>海外から出願する場合は</u>、上記宛名ラベルを貼り付けた封筒を、国際スピード郵便 (EMS)、国際宅配便 (FedEx、DHL 等) のいずれかの封筒に封入して発送してください。

(6) 出願上の注意事項

1. 出願書類を自書する場合は、文字は黒のボールペン書き (摩擦等の温度変化で筆跡が透明化するボールペンは使用不可) とし、楷書で正確に記入してください。
2. 自書した記載事項を訂正する時は、誤記部分を 2 本線で抹消してください。修正液類の使用や紙面の削り取り等はしないでください。
3. 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
4. 出願後の書類は、一切返還しません。
5. インターネット出願登録後の登録内容の変更は、認めません。ただし、出願後、転居等の理由により、住所、連絡先に変更があった場合は、国際交流課まで簡易書留速達郵便等で届け出てください。届け先は、29 ページの【私費外国人留学生選抜に関する問合せ先】を参照してください。
6. 出願書類等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、事前に電話連絡した上で事前相談の申請をしてください。連絡先は、29 ページの【私費外国人留学生選抜に関する問合せ先】を参照してください。

受験票及び受験上の注意の印刷

出願が受理された志願者には、9 月 26 日(金)(予定であり、処理の関係により数日遅れる場合があります。)に「受験票、受験上の注意印刷可能メール」が出願時に登録したメールアドレスに配信されますので、インターネット出願サイトから「令和 8 年度和歌山大学私費外国人留学生選抜受験票(以下、「和歌山大学受験票」という。)」及び「受験上の注意」を A4 サイズで印刷してください。

「和歌山大学受験票」を印刷する際は、裏面は白紙であることが必要です。表面及び裏面に不要な印字等がある場合は不正行為となる場合があります。

「和歌山大学受験票」及び「受験上の注意」を印刷後、内容を確認してください。パソコン等に表示された受験票(PDF)の受験番号と、受験票(PDF)印刷後の受験番号が一致していることを必ず確認してください。インターネット出願登録した際の受付番号は受験番号ではありません。

入学者選抜方法等

入学者選抜方法は、日本留学試験の成績、本学が実施する面接の結果及び出願書類により総合して行います。

なお、面接は日本語で行います。

学力検査等

	日本留学試験 2024 年 6 月実施分若しくは 11 月実施分又は 2025 年 6 月実施分のいずれか				本学が実施する 学力検査等	配点 合計	備 考
	日本語 (「記述」は除く)	総合 科目	理科	数学	面接 日本語		
経 済 学 部	○	○	×	○	○		上段の○、※印は配点対象であることを表し、下段の数字は配点を表します。 なお、日本留学試験の科目の選択、※印の「総合科目」と「理科」の選択は、 【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL Test における出願要件】によります。
	400	200	—	200	1200	2000	
シ ス テ ム 工 学 部	○	×	○	○	○		
	400	—	200	200	800	1600	
観 光 学 部	○	※		○	○		
	400	200		200	800	1600	

試験日時及び試験場

令和 7(2025) 年 10 月 11 日(土) [予備日：令和 7(2025) 年 10 月 13 日(月)]

学 部	学力検査等	試験開始時刻	試 験 場
経済学部	面接	9 : 30	和歌山大学西 3 号館 (和歌山市栄谷 930)
システム工学部			和歌山大学北 1 号館 (和歌山市栄谷 930)
観光学部			和歌山大学東 1 号館 (和歌山市栄谷 930)

受験上の注意事項

1. 試験当日は、「和歌山大学受験票」を持参してください。
2. 「和歌山大学受験票」は、表面を上にて二つ折りにし、印字部分が確認できるよう机の上に置いてください。
3. 試験当日、スマートフォン等による「和歌山大学受験票」の画面提示による受験は認めません。必ず所定のサイズに印刷した「和歌山大学受験票」を持参してください。
4. 「和歌山大学受験票」は、学力検査等の受験後も、入学手続の際に必要となりますので試験終了後も大切に保管してください。

合格者発表

令和 7(2025) 年 10 月 31 日(金) 9 時

上記の合格発表日時に、合格者の受験番号を本学ホームページに掲載するとともに、合格者には速達郵便等により送付します。合格通知書、「和歌山大学受験票」は、入学手続の際に必要となりますので試験終了後も大切に保管してください。

不合格者への通知は行いません。また、電話、メール等による合否の問合せには応じません。

和歌山大学ホームページ「入試情報」

<https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/>

掲載開始時間は多少前後することがあります。

掲載期間中は、インターネット回線の混雑により本学ホームページに繋がりにくいことがあります。

入学手続

合格通知を受けた者は、入学手続期間内に入学手続を行ってください。入学手続の詳細は、合格者に後日改めて送付する「入学手続案内」で指示します。（海外在住の方については、合格通知書とともに送付します。）

入学手続方法（予定）

「入学手続案内」を熟読の上、必要書類等を整え、書留速達郵便（国際スピード郵便、国際宅配便）で令和8(2026)年2月17日(火)17時まで【時間厳守】に**本学入試課必着**するように郵送してください。ただし、令和8(2026)年2月17日(火)15時から17時に限り、「持参による方法」の入学手続受付を行う予定です。

入学手続期間（予定）

令和8(2026)年2月17日(火)17時までに**本学入試課必着**

ただし、令和8(2026)年2月17日(火)15時から17時に限り、「持参による方法」の入学手続受付を行う予定です。

提出書類

提出書類	備 考
和歌山大学受験票	照合し、入学手続完了後返却します。 (海外在住の方は『写』（コピー）を提出してください。返却いたしません。)
合格通知書	照合し、入学手続完了後返却します。 (海外在住の方は『写』（コピー）を提出してください。返却いたしません。)
入学料	282,000 円（下記注参照） 本学所定の振込依頼書（海外在住の方については、国際学費決済サービス）により、入学手続時までに納入してください。私費外国人留学生を対象とした入学料免除、入学料徴収猶予制度はありません。 令和8(2026)年度入学者の納入金額及び納入方法の詳細は「入学手続案内」でお知らせします。
その他	上記以外の必要書類は、「入学手続案内」で指示します。

注1 上記記載の金額は、令和7(2025)年4月現在のものです。

注2 入学料の改定が行われた場合には、改定後の金額を納入することになります。

注3 既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

(ア)誤って二重に納入した場合

(イ)入学手続を行わなかった又は完了しなかった場合

注4 入学料の納入のみでは、入学手続を完了したことにはなりません。

入学前の主な諸経費（単位：円）

諸 経 費	経 済 学 部	システム工学部	観 光 学 部
学会費・同窓会費・後援会費	52,000		10,000
研修・実習経費	7,640		6,500
学生団体諸会費	20,500	20,500	20,500

注1 上記記載の金額は、令和7(2025)年4月入学者のものです。令和8(2026)年4月入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。

入学後に必要な納付金

授業料 半期分 267,900 円 年額 535,800 円

注1 上記記載の金額は、令和7(2025)年4月現在のものです。

注2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

注3 令和8(2026)年度入学者の納入金額については、決定次第、別途お知らせします。

注4 私費外国人留学生を対象とした授業料免除制度はありません。

入学手続に関する注意事項

1. 入学手続期間中に入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものとして取り扱います。
2. 入学手続完了後、高等学校等の課程を卒業(修了)しないなどの事由が生じた場合は、入学許可を取り消します。許可を取り消した場合は、入学料の返還はできません。
3. 入学手続完了後、理由の如何に関わらず入学を辞退する場合は、令和8(2026)年3月31日(火)16時までに「入学辞退願」を本学入試課に提出し、その許可を得てください。入学手続完了後に入学を辞退した場合は、入学料の返還はできません。令和8(2026)年3月31日(火)16時を超えての「入学辞退願」は受付しませんので注意してください。

個人情報取扱

本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。

1. 出願書類等に記載された個人情報は、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」、「入学手続」の入試業務、「入試の改善や志願動向等の調査・研究」、「その他の本学における諸調査・研究等」を行うために利用します。出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学に出願していることを、保護者等又は出身学校に連絡する場合があります。

なお、入学者については、「入学者の受入準備」、「教務関係(学籍管理、修学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金業務、就職支援等)」、「授業料等収納業務」を行うために利用します。

2. 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」、「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係(授業料免除・奨学金業務等)」を行うために利用します。
3. 一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して個人情報を提供します。
4. 捜査機関等が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて、相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供します。

入試情報の開示

志願者数・受験者数・合格者数・入学者数

和歌山大学ホームページ「入試情報」<https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/> でお知らせします。

学部の紹介

1. 経済学部

本学部は、1922 年(大正 11 年)に創立された旧制和歌山高等商業学校以来の伝統を受け継ぎ、100 年にわたって社会に多くの優れた人材を送り出してきました。この間、時代と社会の要請にこたえながら、経済社会の理解に不可欠な学問分野である経済学、経営学、会計学、情報学、法学の教員を揃え、論理的思考力、専門知識、実務能力、幅広い教養を有する人材の養成に努めてきました。卒業後の進路は、金融・製造・流通・情報・公務など多様な業種にわたり、昨今の厳しい就職状況下でも就職率は高い水準を保っています。また、本学大学院経済学研究科修士課程に進学する学生もいます。優秀な成績を修めた学生は、3 年次修了時点で大学院に進学できる制度が設けられています。

近年の多様化・複雑化する社会においては、複数の学問分野にまたがる専門知識を活用し、一人ひとりが他の人と協力しながら問題を発見・解決する能力が求められています。そのような能力・資質を身につけるために、本学部のカリキュラムは、経済学、経営学、会計学、情報学、法学の各学問領域での体系的な学修に加え、これらのうちのいくつかの学問領域の学修を組み合わせています。その上で、卒業後の進路において必要となる専門知識や実務能力などを考慮して横断的な学問領域における授業科目を体系化しています。学生は初年次から将来の自分の姿を思い描きながら主体的・計画的に学修を進めます。このカリキュラムでは、学修目標とそれによって目指せる可能性のある代表的な進路を想定し、次の「プログラム」及び「プログラム」に所属しつつ更に専門的な学修を極める「エキスパート・コース」を設けています。

「グローバル・ビジネス&エコノミー」

グローバルな視点から経済領域・経営領域で種々の課題に対応できる能力を身に付け、グローバル企業、国際機関、NPO・NGO などにおいて中心的な役割を担える人材となることを目指します。

「ビジネスデザイン」

新たな視点から事業、企業の再活性化に取り組める能力を身に付け、企業の企画部門などにおいて、高い企画力を持って組織変革や業務改善を担える人材や、起業家などを目指します。

「企業会計・税法」

会計学及び税法の視点からの実務能力を身に付け、企業の経理・財務部門において、会計・法制度の知識をもとに組織活性化の支援に取り組む人材や、税理士、公認会計士、不動産鑑定士、国家・地方公務員などを目指します。

「地域公共政策・公益事業」

地域社会における課題解決能力を身に付け、地域の活性化を支援する国家・地方公務員や、公益性の高い事業主体の職員などを目指します。

「サステナブル・エコノミー」

経済における持続可能性を実現できる多様性・柔軟性を有する能力を身に付け、企業の CSR 関連部門、社会的企業、環境 NGO・NPO などにおいて、多様な利害関係者と各組織の橋渡しとなれる人材となることを目指します。

○エキスパート・コース

3つのユニット(「グローバル・ビジネス&エコノミーユニット」「都市と地域ユニット」「市場・企業分析ユニット」)から希望するユニットを選択し、それぞれの専門分野の研究に必要な基礎的能力を修得します。それをふまえて大学院進学を目指します。

2. システム工学部

システム工学部システム工学科の特色

近年、科学技術の急速な発展に伴い、様々な工業技術が高度化・専門化してきました。また一方で、複数の専門分野の成果を複合的・横断的に応用することが、新しい技術開発や地域産業の再生につながるようになってきました。つまり、現在社会において、「高度な専門性」と「複数の技術領域を見通す力」の両方が求められています。このような産業界や社会の要請に、より柔軟に対応できるように、システム工学部では、それまでの5学科を1つの学科(システム工学科)に統合し、10の教育研究課程(メジャー)を設けました。これにより、学生自らが将来を志向し、各自の興味や資質に見合った2つのメジャーを主体的に選択すること(ダブルメジャー制)でコースを構成し、複数の専門分野を学ぶことができるようになりました。

さらに将来に目を向けると、情報関連技術を基盤とする先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会である Society 5.0 に対応できる工学人材を創出することも求められるようになってきています。これを受けてシステム工学部では、令和5年度に、将来にわたる技術動向を精査して、メジャーを3つの大きな専門分野の括り(領域)に分類し、これまでの10メジャーを8メジャーに再編しました。主な特色として、情報教育を重視し、更なる充実を図るとともに、システム工学科で共通化しました。これにより、専門分野にかかわらず、情報技術をベースとした広範かつ柔軟な専門性を養うことができます。また、2年終了時に、学部のみ4年制に加えて、学部から大学院博士前期課程までの一貫教育である6年制に進む選択も可能としました。6年制では、より高度かつ実践的な専門教育を行うことにより、複数の専門技術を有機的に融合させて課題の解決に導く能力をさらに高めることができます。なお、再編後もこれまでどおり、ダブルメジャー制によって、領域にとらわれずに複数の専門分野について学修することができます。

以下に、各メジャーの教育目的とメジャーの組み合わせによるコースをいくつか示します。

・ロボティクスメジャー

ロボットなどに代表されるメカトロニクス機器を効率的に設計し安全に運用するための技術を身につけます。対象となる分野は幅広く、ソフトウェアからハードウェアまで、機械+電気+情報についてバランスよく学びます。

・電子物理工学メジャー

物理学、光工学、電気電子工学、材料工学などの分野を扱います。物質科学に関する基礎を身につけた上で、フォトリソグラフィやエレクトロニクス材料の開発から応用技術を学びます。

・化学メジャー

身の回りでは、原子や分子の結びつきにより生命活動や様々な物質・材料形成が行われています。このような生命活動に関わる物質や、身の回りの物質・材料の性質を理解し、その創造や性能の発現、産業への応用に関する技術について学びます。

・環境科学メジャー

環境を守り、育て、次世代に継承する人材の育成をめざして、環境破壊を未然に防ぐ、自然災害から命や暮らしを守る、地球温暖化に対応する、美しい風景を創造するなど、持続可能な社会の実現に貢献するための知識と技能を学びます。

・建築・ランドスケープメジャー

環境に配慮した建築、インテリアデザインや都市計画、身近な自然景観や森林、様々なスケールや地域における環境と生活空間を対象として、自然と調和する技術や建築設計、地域づくりについて学びます。

・情報システムデザインメジャー

人や社会を豊かにする情報システムを企画・設計・開発する能力を身につけます。情報技術に支えられた社会の仕組みを知り、新しい情報システムの可能性を探索するために、ソフトウェア開発や高度なコミュニケーションについて学びます。また、情報学領域共通でデータサイエンス、人工知能・機械学習について学びます。

・ネットワークコンピューティングメジャー

あらゆる人やモノがネットワーク接続されるデジタル社会において、人や社会を守り、新たな価値を創造する技能を身につけます。インターネットやモバイル通信だけでなく、センサを社会活用する IoT、情報セキュリティ、ネットワーク分析等について学びます。また、情報学領域共通でデータサイエンス、人工知能・機械学習について学びます。

・クロスリアリティ・情報デザインメジャー

現実世界と仮想世界(メタバース)が融合する時代に向けて、現実世界に働きかけるロボティクス、メタバースを実現するコンピュータグラフィックス(CG)、それらと人を繋ぐ仮想現実(VR)、拡張現実(AR)、ならびに情報デザインについて学びます。また、情報学領域共通でデータサイエンス、人工知能・機械学習について学びます。

代表的なコースとそれを構成するメジャー、期待される就職先

コース名	メジャー名	期待される就職先
メカトロニクス	・ロボティクス ・電子物理工学	機械、電機、自動車、精密機械、光学、医療応用機器、電子部品
知能機械システム	・ロボティクス ・情報学領域から1つを選択	自動車、電機、精密機械、生産機械、医療機器、情報通信産業、サービス産業
ナノテクノロジー	・電子物理工学 ・化学	半導体・電子部品、精密機器、化学・医薬品・化粧品、素材
先端情報ネットワーク	・情報システムデザイン ・ネットワークコンピューティング	情報通信産業を含む幅広い産業におけるソフトウェア・インフラ・AI・ネットワーク・セキュリティエンジニア
社会情報システム	・ネットワークコンピューティング ・クロスリアリティ・情報デザイン	情報通信産業を含む幅広い産業におけるネットワーク・インフラ・AI・CG/VR/ARエンジニア、UX/UIデザイナー
創造情報デザイン	・クロスリアリティ・情報デザイン ・情報システムデザイン	情報通信産業を含む幅広い産業におけるソフトウェア・AI・Web・CG/VR/ARエンジニア、UX/UIデザイナー

環境デザイン	・環境科学 ・建築・ランドスケープ	公務員（土木、建築、造園）、建設・住宅、 環境プラント
環境化学	・環境科学 ・化学	化学・環境職公務員、環境プラント、 化学メーカー

3. 観光学部

21世紀は「観光の時代」。世界のあらゆる国や地域で最も有望な成長分野として注目されるのが観光です。日本においても観光は戦略産業と位置づけられ、官民一体での「観光立国」実現に向けた政策や取組が加速するなか、観光産業や行政の現場と密接に連携しながら、新しい観光学の創造及び観光を支えるに相応しい豊かな教養と専門性、さらにはグローバル時代に対応したハイレベルな国際的・学際的視点を有する観光人材の輩出がますます期待されています。和歌山大学観光学部は、観光教育研究における日本の、そしてアジアの拠点として、これらの人材養成に応えるべくさらに進化します。

観光学部の特色

- ①観光学は人間の生活・文化に関わるあらゆる分野を総合した学問であることから、人文・社会科学から自然科学までの幅広い分野を融合的・横断的に学ぶことのできる充実したカリキュラムを用意しています。
- ②最先端の観光理論を学ぶことはもちろん、教員と学生が自治体と連携して地域課題の解決に取り組むプログラムや海外の連携大学等と共同で取り組むエリアスタディ等の機会を通じて、社会の各方面から即戦力として期待される実践力が身につきます。
- ③ハイレベルな観光人材に相応しい教養の醸成を重視した科目を配置するほか、「Global Program (GP2.0)」の導入を通じて国際化時代における言語面でのバリアフリー化を進めます。

学生生活

(1) ノートパソコンの準備

本学では、個人所有のノートパソコンを活用した授業が実施されています。また、履修登録やレポート及び論文の作成・提出など数多くの機会にパソコンとインターネットを活用しますので、入学までに各自でノートパソコンを必ずご準備ください。

なお、本学では Microsoft と包括ライセンス契約を結んでおり、Microsoft 365(Word, Excel, PowerPoint 他)を在学中無償で利用することができます。また、学内には無線 LAN を整備していますので、在学中自由に利用することができます。

詳細につきましては、下記ホームページにて随時公開すると共に入学手続き時に改めて案内します。

https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/essential_pc/



(2) 問合せ先

問合せ事項	問合せ先
外国人留学生の宿舎、奨学金、保険など	国際交流課 TEL 073-457-7524
ノートパソコンの準備	学術情報課 TEL 073-457-7177

私費外国人留学生選抜に
関する問合せ先

和歌山大学

《手続関係照会先》

国際交流課 (International Engagement Division)
〒640-8510 和歌山市栄谷 930
TEL 073-457-7524

《学部照会先》

【経済学部】学務課 学部等支援室 経済学部係	TEL 073-457-7805
【システム工学部】学務課 学部等支援室 システム工学部係	TEL 073-457-8021
【観光学部】学務課 学部等支援室 観光学部係	TEL 073-457-8542

〈注意〉

- ・本入試に関する全ての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「入試情報」(<https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/>)でお知らせします。
- ・電話での照会は、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)及び夏季一斉休業(令和7年8月12日～18日)を除く、月～金曜日の9時から17時(12時から13時は除く)に、この学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。